

音楽のまち習志野に 街かどピアノを――

野田 もも



ピアノの鍵盤を模したデザイン

前号の『きらこ』（143号）に習志野市役所のグラウンドフロアにある証明書などを発行する窓口の上の壁面はピアノの鍵盤を模したデザインなのだそうです――

という情報。

見に行こうと思いついたが、なかなか足を運ぶ機会がなかったのですが、新型コロナ給付金申請用紙が届いたので、返信封筒切手代財政の節約の協力にもなるかもと届けることにしました。

駐輪場に自転車を止め、振り向くと庁用車「習志野市ご当地キャラクタ―・ナラシド♪」君と目が合いました。

そういえばこの頃、市からの封筒には「あしたのハーモニーが響くまち習志野市」のロゴマークがついています。

急いで申請用紙を提出し、ピアノ鍵盤を探すと――。

ありました。鍵盤の窓が！

何人の人が気づいているのだろうと思いつながら広い階段オープンスペースに目がいきます。

そうだ。ピアノここにあったらいいのに。

「街かどピアノ」「駅ピアノ」……。オープンスペースに置かれたピアノを人びとが自由に弾いて行くテレビ番組。ピアノがその人の人生を奏でる大好きな番組です。

市役所のオープンスペースにグラウンドピアノが置かれていたら、まさに「音楽のまち習志野」。

どなたか寄贈してくださる方はいらっしゃらないのだろうか、そうしたら昼のコンサートもいいなと思いつつながら帰途につくとナラシド君は♪が踊っていました。

この日「アベノマスク」も届いたので「スマイルマスクプロジェクト習志野」習志野青年会議所の回収BOXに入れました。